

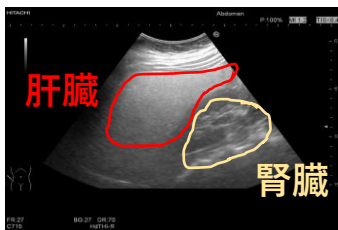
腹部エコー

「腹部エコー」はみぞおちから、脇腹のあたりに超音波をあて
肝臓・胆のう・膵臓・脾臓・腎臓の5つの臓器を中心に異常が
ないかを診る検査です。

胆石・ポリープ・のう胞・腫瘍などの**限局性病変**、脂肪肝・
慢性肝炎などの**びまん性疾患**、各臓器の形態などを観察します。

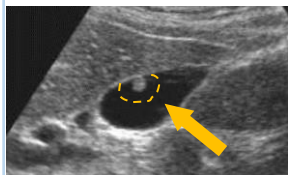
脂肪肝

「左図はエコーでみた脂肪肝です。
肝臓と腎臓を比べて、**肝臓の方が白く
なっている**のが分かります。
これが脂肪肝です。脂肪のつき方
によって軽度・中等度・高度に分かれます。
進行して重症化すると「**肝硬変**」「**肝細胞癌**」になる場合
があることが分かってきました。肝硬変はとても大変な病気です。
肝臓の大事な機能が失われてしまい様々な症状がでてきます。
まずはご自身の肝臓がどんな状態か知ることから始めましょう！

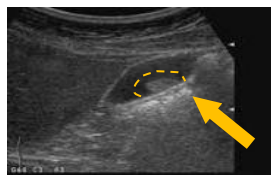


ポリープ

ポリープとは**隆起した病変部分**のことをいい、**良性と悪性**とに
分かります。エコー検査では大きさや性状で良性か悪性なのか
判断しますが、どちらか区別できないときがあります。
胆のう癌の場合ほとんどが無症状です。症状が現れた時には、既に
他の所に影響がでていますので治療が、とても難しくなります。
ですから、早期発見がとても大事です！！



ポリープ



胆のう癌

のぐち江ノ島クリニック

エコー検査でわかること

エコー検査は、人の耳に聞こえない高い周波数（超音波）を利用
して体の中を画像として映し出す検査です。

当院で採用している装置では、
最新の超音波エラストグラフィ
により、その場で**肝臓の硬さ**が
計測できます。
これは慢性肝炎から**肝硬変**、
肝細胞癌への進展の早期発見が
可能です。

当クリニックのエコー装置では

- 頸部-頸動脈-甲状腺
 - 腹部-肝臓-胆嚢-膵臓-脾臓-腎臓-膀胱-他
 - 心臓
 - 下肢
 - 乳腺
- の検査ができます。

検査時間は15分～30分
痛みのない非侵襲的な検査です。

(X線画像検査と違い、被ばくの心配はありません。)



脂肪肝

「脂肪肝」、一度は聞いたことがあるのではないのでしょうか。この言葉は文字通り、肝臓に**脂肪**がついた状態の事をいいます。脂肪がついているのは嫌だけど、まあそれだけか・・・と思わないでください！！

下の図はエコーでみた脂肪肝です。

肝臓と腎臓を比べて、脂肪肝では**肝臓の方が白くなっている**のが分かると思います。これが脂肪肝です。脂肪のつき方によって軽度・中等度・高度に分かれます。

脂肪がつく原因は「**アルコール性**」と「**アルコール性以外**(栄養の摂りすぎ、肥満、糖尿病)」とに別れます。

「アルコール性」「非アルコール性」どちらも進行して重症化すると「**肝硬変**」「**肝細胞がん**」になる場合があることが分かってきました。肝硬変はとても大変な病気です。肝臓の大事な機能が失われてしまい様々な症状がでてきます。

ただ脂肪肝になったからすぐになるわけではありませんが、脂肪肝が進行して治療もしないで放置していると進行してしまいます。

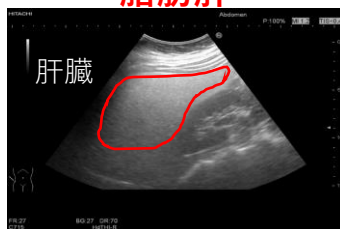
対策として、**食生活や生活習慣の改善が必要です**。薬の処方もあります但这些を変えないと症状は改善していかないと思います。

まずはご自身の肝臓がどんな状態か知ることから始めましょう！

正常



脂肪肝



胆嚢ポリープ

「ポリープ」という言葉は聞いたことがあるのではないのでしょうか。胃や大腸ポリープなどをよく聞くとおもいます。

胆嚢にもポリープは見られ、**エコー検査**で見つけることができます。

ポリープとは**隆起した病変部分**のことをいい、**良性と悪性**とに分かれます。良性はコレステロール性のポリープが一番多く、特に問題にはなりません。悪性だと癌があり、定期的に検査や精密検査が必要になります。

エコー検査では大きさや性状で良性か悪性なのか判断しますが、どちらか区別できないときがあります。

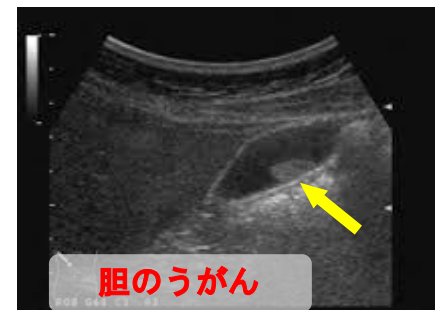
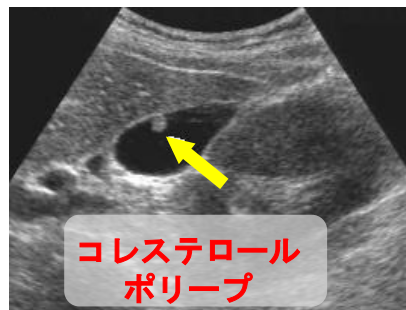
今は大丈夫そうだけれども、今後急に大きくなるかもしれない…ですのでポリープが見つかった場合は定期的にエコー検査を受けて変わりにないかチェックします。

これによってもし癌であった場合にも早期発見でき、治療が早めに行えますので安心です。

また**胆嚢癌ができていたとしてもほとんどが無症状**です。

症状が現れた時には、既に他の所に影響がでていきますので治療が、とても難しくなります。ですから、早期発見がとても大事です！！

ポリープを見つけるためには **エコー検査が最も適しています**。

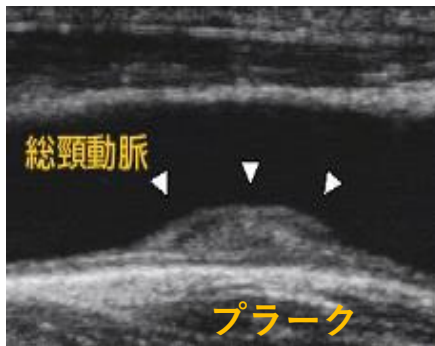


頸動脈エコー

「頸動脈エコー」は脳に向かう血管の「頸動脈」と「椎骨動脈」を診る検査になります。この二つの動脈の中に、高脂血症や糖尿病の方は、プラークと呼ばれるものが血管の壁にできます。プラークができることによって**血流に障害**がでたり、プラークがはがれて脳に流れてしまう

危険性があり、流れたプラークが血管につまり、**脳梗塞**を起こすこともあります。

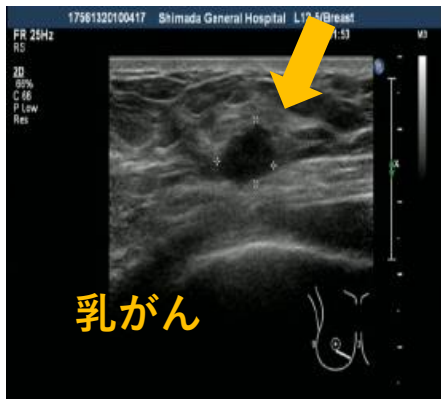
また、頸動脈エコーは動脈硬化の診断ができる検査で、全身の動脈硬化の程度を表す指標を評価できます。



乳房エコー

「乳房エコー」は乳腺内の小さな腫瘍や乳管内の変化を診る検査になります。

エックス線によるマンモグラフィは乳房を、アクリル板で圧迫しての撮影となるためかなりの痛みを伴いますが、乳房エコーは痛みもなく20分程度で終了します。



心エコー

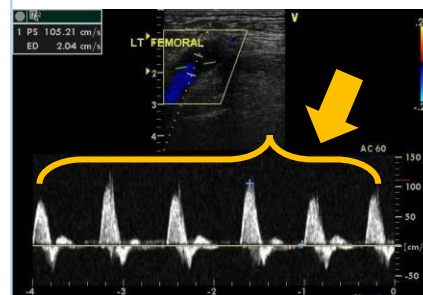
「心エコー」は心筋が正常に動いているかどうかを判定したり、1回の拍動ごとに心臓が送り出す血液の量を判定する目的の検査になります。



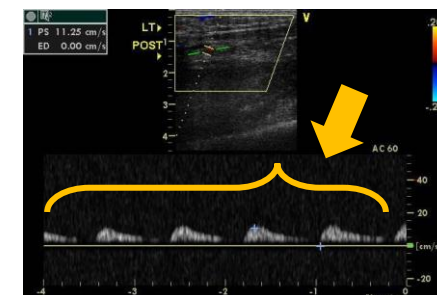
下肢血管エコー

「下肢血管エコー」は深部静脈にある血栓の有無を診る検査になります。

深部静脈に血栓ができ、肺に流れて詰まると呼吸困難や突然死になる可能性があります。太もも〜くるぶしにかけて血液の流れが順調かを調べ、歩行時の足の痛み・しびれの原因となる**閉塞性動脈硬化**、**脳梗塞**やむくみの原因となる**深部静脈血栓・静脈瘤**がないかを調べます。



↑ 正常な人の血流パターン



↑ 非常に強い閉塞の場合の血流パターン